



専攻科通信

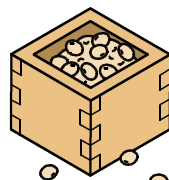
第三号

二月十五日、大きな事故もなく十五回の操業を終え、今航海二度目の適水日となりましたので、近況を報告します。

二月三日、船内で毎年恒例の節分が行われました。「シャチは外、マグロは内」の掛け声とともに、豆やチョコがまかれ、実習

生・乗組員一同、残りの操業の大漁祈願をしました。なぜか馬の面を被った鬼も現れ、笑顔溢れる大盛り上がりのイベントとなりました。

夕食には、特大恵方巻きも出され、専攻科生は、北北東を向き、無言ではお張りながら、おそらく海技士試験の合格を願ったことでしょう。



二月十日、この日はえひめ丸の追悼式が行われました。

二〇〇一年、二月十日にハワイ沖で起きた事故の事を改めて学び考えながら、一分間の黙禱を捧げました。

ハワイに到着すると、実習生は毎回えひめ丸記念碑に足を運びます。

これからも同じ水産実習船で学んだ仲間に起きた出来事を忘れず、また後輩へとその思いを受け継いでいきたいと思ひます。



操業も半分を過ぎ、当直や作業にも余裕が出てきました。この気の緩みから怪我などしないよう最後まで頑張ります。

編集・カメラ/H・T